

暖かな日が続くようになってきた頃と思います。

都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会の報告では、各県の取り組み、問題点が報告・議論されています。都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の報告では昨今の医師引き上げなどによる医師不足に対する各地域の取り組みが報告され、「千葉宣言」が掲載されています。この宣言は全く同意できるもので国に届いて欲しいと思います。

県医師会新年祝賀会の報告では和やかな雰囲気がよくわかりました。

県医師会医学会総会では真新しい医師会館で行われ、医学会総会会頭稲富洋明先生の挨拶に続き、日本医師会副会長の竹嶋康弘先生の特別講演があり、昨今の医療事情について言及されていました。シンポジウムでは「沖縄県における初期臨床研修から後期（専門）研修および生涯教育までの連携について」の報告があり各代表の取り組みの報告が印象に残りました。

昨年末に行われたマスコミとの懇談会は私にとって最も印象に残る記事で、「県立病院のあり方について」のテーマでした。詳しいことは読んで頂くとして、離島のまさしく現場にいる伊江院長の声は広く県民・首長に届いて欲しいと思いました。またマスコミの黒島氏の発言はかなり現状を理解したもので、何が問題であるかをずばり指摘されており、頼もしく思いました。是非「県立病院について」の議論では机上で議論を行うだけでなく、現場に出向いて調べた上で議論して頂きたいと思いました。

生涯教育では琉球大学光学医療診療部の金城渚先生による「機能性ディスペプシア診療の現状と課題」についての解説で、この疾病をわか

りやすく解説して頂きました。インタビューコーナーは中央保健所所長の仲宗根正先生で様々な活動とその抱負が述べられました。お知らせではこども予防接種週間を宮里善次先生、世界結核デーを琉球大学藤田次郎先生、耳の日を琉球大学の我那覇章先生より説明がありそれぞれ最新の内容が解説されていました。発言席ではおおうらクリニックの大浦孝先生による「透析室入門」で私は外科医として内シャント造設に携わったことがあるのと診療で透析医のお世話になることがあることから興味深く読ませて頂きました。

石川先生の本の紹介では三日坊主を克服する本が紹介され興味を惹きました。北部地区医師会主催のニキ・リンコ氏による自閉症療育講演会について泉川先生より報告があり、講演会の様子や講演内容から、正しい理解と対応が重要であると思いました。村田先生、照屋先生の医師会親睦囲碁大会の報告は楽しそうな雰囲気が伝わってきました。

随筆では愛楽園の野村謙先生が愛車について寄稿されており、この車にもオフ会があるのかと興味を惹かれました。稲福薫先生の随筆は老練の医療について多角的に論考されました。琉球大学の高須信行先生の自伝の報告では先生の意外な波乱の人生がかいま見えるようです。名嘉村クリニックの名嘉村博先生の随筆では先生の長年の診療、政治や社会情勢にまで言及されました。

それでは皆さん、ご自愛のほど祈ります。

広報委員 上田 真